

日新

日新地区だより 60号

「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに
日日新 ひび あら 日々に新たに
又日新 また ひ あら 又日に新たなり
出典 「大学」

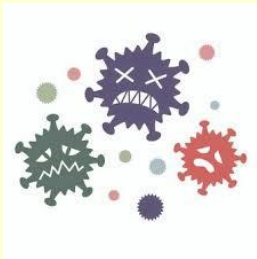


発行：まちづくり日新 広報部会
福井市文京5丁目1-8 日新公民館
発行日：令和3年（2021年）12月23日

不自由な社会環境から一日も早い自由体制の確立を!!

山口 満

日新地区住民の皆様、毎日いかがお暮らしですか？一昨年の12月よりの新型コロナウイルスの発症以来2ヶ年の時間の経過が成されました。第1波、第2波、・・・第5波と時に8～9月頃は最悪の状況に到り、全国数値としては1日当たり約2,500人と感染者数は最高値に到り、病床数とその医療体制も限界直前迄に迫り、また一般の病床等も崩壊寸前と本当に大変なる状況に到りました。



しかしながら、ここに至って11月の中旬以降より著しく感染者数の低下減少が見られ、全国的には日々100名前後(12月6日60名)、東京では1日7名、福井県に於いても26日間感染者無しの実績が継続されており(収束?)ます。

しかし、海外に目を転じてみると、日本と真逆の最高の感染者数に到っております。ヨーロッパ諸国(ドイツ・英・仏・オランダ等)又、お隣の韓国でも同じように高い数値にあります。

新型コロナウイルス感染者数値の極端な急激なる減少の要因・原因は判っておりませんが、このまま収束に到ることもあります。しかし、今南アフリカよりの新たなる新型コロナ変異株のオミクロン株が発症され世界的流行の兆しが見え、この非常に強い感染力を持ったウイルスが日本国内にも第6波として来年1～2月ごろに大きな数値とし感染拡大が見られるのではないかとこの予測も報道されています。お互いにまだまだ、暫くは個人の行動に依るいろいろな規制範囲の(マスク・手洗い・ディスタンス等)内容について活動展開を図りましょう。

日新交番よりお知らせとお願い

日新交番所長

木原 一男

年末の気忙しい時期となっていますが、日新地区の皆様が事件事故に遭われることなく健やかな年始を迎えられるよう日新交番よりお知らせとお願いを申し上げます。

一点目は、事件関係についてです。本年も、福井署管内の犯罪発生状況は減少傾向にありますが、日新公民館管内の犯罪発生状況は昨年と同数であり、日新交番管内では増加傾向にあります。日新公民館管内における本年11月末の犯罪発生状況は、20件で、自転車盗難、住居侵入、車上狙い、器物破損等が発生しています。防犯の為、自転車、自動車、家屋の鍵は必ずかけるようにして下さい。

また、タイヤ交換の時期は、例年タイヤの盗難被害が増加することから、タイヤ交換を行った際、夏タイヤの保管管理を徹底していただき盗難の被害に遭わないように注意して下さい。



特殊詐欺については、被害件数、被害額がいずれも昨年より増加しています。本年11月末の被害額は7,700万円で、高齢の女性の方が多く被害に遭われています。キャッシュカードを預かったり、ATMに誘い出して携帯電話で操作させる行為は詐欺だと思って下さい。知らない電話には出ない、安易に個人情報をお教えない、メールを返信しないよう注意して下さい。

二点目は、交通事故についてです。本年11月末現在、福井県内では25名、福井署管内では6名(うち高齢者の方は5名)の方が交通事故により尊い命を失っておられます。運転者の方は、シートベルトを着用し、早めのライト点灯をしていただき、安全確認をしっかりと行って事故を起こさないようにして下さい。また、歩行者の方は明るい服装と夜間は反射材を着用していただき、横断歩道を利用して交通事故に遭わないようにして下さい。

県民の警察官を授賞
おめでとうございます



木原警部補

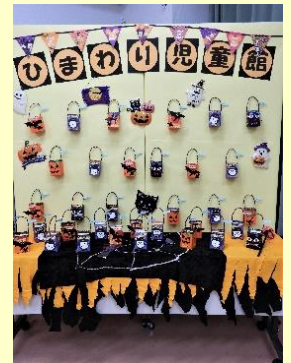
今年の公民館まつり

今年(令和3年)の公民館祭りは10月17日(日)～23日(土)に開催されました。開催方法は、昨年同様のコロナ対策のために、教育事業などは館内展示、自主グループ活動などはVTRによる発表を会議室で上映、祭りの後に抽選会が行われました。残念ながら模擬店は開くことが出来ませんでした。

そんな中、抽選券に福井弁クイズが添えられていたことは家庭内で答えをひねり出すのに盛り上がったようです。下記に公民館まつりの展示の様子を写真で紹介します。



♪～♪～♪ / ♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～



素敵な作品の数々ですね。来年は通常の公民館まつりになることを願います。

乾徳1号橋上流の中州撤去が実現される

3年越しの福井県土木事務所との交渉が実り底喰川のほんの少しの改修が実現しました。2017年10月14日に県土木事務所を訪問し、低水路の土留めの丸太の補修、毎月末に行う底喰川清掃に伴うゴミの回収、(株)明林繊維側に河川に降りるステップの設置、道路脇の河川側通路のレンガの改善、堤防の樹木の支柱の撤去の5項目が認められましたが残念ながら土砂の堆積・葦等の繁茂の中州の撤去はもう少し待つ様子を見検討してもらうことになっていました。再度2020年11月12日に、



「底喰川に係る環境・美化整備に関する要望」を提出しました。その結果乾徳1号橋上流の中州(葦の島)の撤去が承認されましたがようやく今年(2021年)の10月に工事に入り11月中旬に大きな『葦の島』の姿が消えました。



しかし、まだまだ川中には大小の葦の島が点在しています。今後も県土木事務所との交渉を継続して行き、全ての『葦の島』がなくなるように願います。でも鴨など川に生きる生物の生息には少しは残すべきかもしれませんね。



「さんさんバスで佐野温泉福の湯へ」(さんさんバスイベント企画)



岩堀 好男さん

コロナ感染が収まりかけている11月の末に「さんさんバス」の佐野温泉担当者の岩堀好男さんにお会いし、この企画の今までの経緯をお聞きました。

「佐野温泉行こう」の交通部会のイベント企画は日新地区の方々の交流のため、みんなが健康で生き生きと生活できる事を目的に、平成25年12月24日より始めました。最初の参加者は27名で、その後平成27年6月29日までの1年と半年の間、毎週月曜日に開催されました。参加者は毎回20名前後で、多い時には40名を超えたこともあったようです。しかし、佐野温泉が閉じられたために平成27年7月6日より平成28年11月7日までは福井鉄道への乗り換えをして神明苑(鯖江市)・しきぶ温泉湯楽里(越前市)などへ行く企画に変更され継続、平成28年11月14日から令和2年12月14日は佐野温泉の復活で、再び佐野温泉行に、この後ご承知の通りコロナ感染拡大になり4か月間中止になりましたが、今年の3月29日から再び復活し、現在に至っております。コロナ感染の収束が宣言されたならば、皆さんの是非の参加をお待ちしています。

毎週月曜日 10:00(福仁会病院前発)⇒10:15(Aコープ)⇒佐野温泉へ 帰り 15:00(佐野温泉発)

佐野温泉福の湯

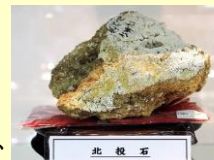


家族連れなどにおすすめです。福の湯は、貸切風呂も温泉です。

また奇跡のパワーを持つ「北投石」を秋田県の玉川温泉から運びました。この石の産地は世界でたった2ヶ所で台北市北投区の北投温泉と、秋田県の玉川温泉からしか産出されない希少な石です。

北投石とは、源泉の沈殿物によって生成された鉱物で、ラジウムを保有しているため放射線を有し、ラジウムエマナチオン(ラドン)を放出します。そのラジウムエマナチオンにはガンに効果がある「放射線ホルミシス効果」があるのではないかとはいわれています。佐野温泉は食事も美味しく、宿泊もできます。是非足を運んでみてください。

(佐野温泉福の湯ホームページより)



ミニ知識

勤労感謝の日と新嘗祭^{にいなめさい}としてサンクスギビングデー

勤労感謝の日



ご存知のように1年の最後の祝日が「勤労感謝の日」で11月23日です。単に働く人に感謝する日と思っていましたがすこし違うようです。昭和23年(1948年)に「国民の祝日に関する法律」が制定された中の説明文で、勤労感謝の日は「勤労をたつとび、生産を祝い、国民互いに感謝しあう日」となっていました。

この日はもともと「新嘗祭^{にいなめさい}」と呼ばれた日で、「その年の収穫したものを神様に捧げ感謝し、翌年の豊作を願う日」でありました。現在でも宮中をはじめ全国の神社で五穀豊作を願う祈年祭が行われています。



アメリカでも11月の第4木曜日は「サンクスギビングデー」(収穫感謝祭)となっています。1621年にイギリス国王からの迫害から逃れ、アメリカ大陸に渡った清教徒が荒野を開拓して初めての収穫を得、神様に感謝したことを記念して、丸焼きの七面鳥(アメリカの先住民がご馳走してくれた)とパンプキンパイ(最初に収穫されたかぼちゃ)を食べたようです。

いずれにしても、11月23日の前後は、働く事への感謝と、食する事への感謝の日であるようですね。



今年も全てにおいて covid-19 に振り回された 1 年だったと思います。環境部会の活動も同様でした。3 月、7 月の一斉清掃は中止となり、一部の有志による活動となってしまいました。一方、長崎大学の研究報告以外には何故 covid-19 感染症が下火になったのか明確な理由は不明ですが、9 月頃より covid-19 が下火になった御蔭で、11 月 14 日に約 2 年振りに一斉清掃を大勢の参加者の下に、実施することが出来たことは大変嬉しいことでした。当初、ミソハギの刈り枝の片付けは藤島中学の生徒ボランティアで行う予定でしたが雨のため中止となってしまいました。11 月 16 日(火)曜日までには集めて収集



可能な状態にする必要があり、どうしたものかと困惑していました。しかし、本当に大勢の方々の参加のお蔭で、無事小一時間で刈り枝の片付けを終了することが出来ました。感謝です！

一方、3 月から 11 月までの毎月第 4 日曜日に実施している定例清掃は、少ない参加者の中でも細々と毎月実施しました。その甲斐あってか、清掃活動のメンバーの写真が福井市広報誌に、活動の紹介と合わせて掲載されました。

最近では SDGs(持続可能な開発目標)と言う、国連サミットで採択された 17 の目標を良く耳にするようになり、環境問題への取り組みも大きく注目されるようになってきました。環境問題の取り組みとして、日新地区では底喰川の美化活動が身近な活動ですので、是非多くの人に興味を持ってもらい、持続可能な活動となることを願っています。

コロナ禍の状況の中では時に高齢者の皆さん方に日々の活動援助事業としてコミュニティーバス運行事業の積極的に応援すべく且つ利便性をより高める為の戦略・戦術を広く現場の意見を求めながら交通インフラの一部分の改正を絶えず考慮しながら令和 4 年以降のまちづくり交通部会として強力で推し進めたく思います。

[11 月理事会会議検討議案] (市役所 2 名・京福 1 名を含む総員 24 名)

- ① 近く住民アンケートの実施(市役所協賛)
- ② 第 3 次本格運行の基準および査定内容変更の件 → 市の活性化会議で決定を
- ③ 新規ルートの検討 (例:ミツワ・ドンキホーテコース)
- ④ 時刻表の改訂・コース・バス停等
- ⑤ 促進企画、イベント
- ⑥ その他



上記内容を含め新たなる「日新さんさんバス」運行事業展開の為の細部の検討、調整を図りながら前向きに「まちづくり部会」一体となって、指示・支援をも願いながら今後も強力で推し進めたく思います。宜しくお願い致します。

*アンケートの提出は公民館玄関に BOX を設定しますので投函してください。

今回の 60 号は各記事の原稿依頼をお願いすると、皆さん冒頭でコロナウイルス感染症について書かれます。そこで交通部会長の山口様の承諾を得て原稿を 2 分割し前半部分を一面で使わせていただきました。

12 月に入り、アフリカ諸国からの発症したオミクロン株が世界中で流行しています。オミクロン株は感染力が極めて強いが軽症であるとの見解がなされています。しかし、西欧諸国では子供への感染もあることから、ワクチンを 2 回接種した人であっても油断は禁物。そこで国内では 3 回目のワクチン接種が 12 月から医療関係者から始まりました。諸外国では 11 才以下の子供達への接種も始まりました。将来はインフルエンザワクチンと同様にコロナワクチン接種をしながらの生活になるように思われます。日新地区のシンボルの底喰川も少しずつ改修され綺麗な川になっていくことを願いたいものです。まちづくり活動も少しずつ元に戻ってほしいですね。

